

自動読み上げ音声・動画配信可能な電子図書館システム

株式会社教育出版センター

事業概要

静止画・テキストだけでなく、動画や自動音声読み上げ（TTS）を含む電子書籍を制作・配信できる電子書籍流通・電子図書館システムを開発し、視聴覚に障害がある人にも楽しめる、新たな市場を開拓する。

製品開発のきっかけ

■目覚ましい市場の伸長

電子書籍市場は近年目覚ましい伸びを記録しており、2017年度には2400億円規模に達すると言われ、多くの印刷会社・出版社が電子書籍ビジネスに参入している。

■閲覧環境の広がり

図書館の世界においても、電子図書館の開設が相次ぎ、PCやタブレット端末によって、館内のみならず利用者が好きなところで電子書籍が閲覧できるという環境も広がりつつある。

製品開発の目標

■高品質かつ誰でも利用できるようなサービスを提供したい。

電子書籍はごく基本的な機能であることが多く、静止画・テキストの閲覧ができるに過ぎない。販売サイトであればより楽しく、高品質な電子書籍が求められたり、図書館という公的なサービス提供の場であれば、目の悪い方や識字障害のある方でも、文学や絵画・写真などの芸術、あるいは公報などの生活情報に容易に触れられるようにならなければいけない。

製品開発の内容・ポイント

【EPUB + TTS 対応のためのエンジン変更】

これまで使用していた電子書籍配信システムは、EPUBに対応したものではなかったため、ハード・ソフト・運用サーバーなどの刷新を行い、EPUBベースの電子書籍制作環境に切り替えを実施した。

【電子書籍閲覧・配信システムの開発】

EPUBベースの配信システムの構築にあたり、EPUB形式でのリッチコンテンツ配信が可能なビューワーなどを開発した。これにより、PC、iOS、Androidなど主要な端末がカバーできるようになる。

【パッケージ化と稼働テスト】

大学や専門機関、専門家等の実験運用などの協力を要請した。

【当社の強み】

当社が実用化を狙っている技術が、TTS（自動音声読み上げ）機能。

これは電子書籍中のテキストデータを合成音声で読み上げるもので、これまでの人間が録音するものよりも、はるかに少ない予算で音声つき電子書籍などを作成することが可能となる。

〒771-0138

徳島県徳島市川内町平石流通団地27番地

TEL. 088-665-6060

FAX. 088-665-6080

URL <http://www.kyoiku-sc.co.jp/>

Mail kyoiku@stannet.ne.jp

設立年月日 昭和46年2月20日

従業員数 28人

業種 印刷業

主要製品等 出版、印刷、デザイン、電子書籍制作、
広告制作、販促企画等

PRコメント

当事業で開発を始めた電子書籍関連の技術は切り口を変えるだけで様々なビジネスを生み出します。今後の新しい展開にもご期待ください。



代表取締役

乾 孝康

本事業の成果

本事業の柱は、当社の電子書籍システムを旧式のフォーマットから、主流のEPUBをベースとするものに変更・マルチメディア対応にする作業であった。本事業終了の8月15日時点で一般公開できる直前段階までこぎつけることができた。

☑EPUB + TTS 対応のためのエンジン変更

EPUBベースの電子書籍制作環境に切り替えにより、電子書籍販売サイトはもちろん、Amazon (Kindle) や楽天 (Kobo) といった大手流通へも並行配信できるようになり、市場が大きく広がった。

☑電子書籍閲覧・配信システムの開発

電子図書館については、貸出・返却のシステム、図書館員が自ら電子書籍をオーサリングするシステムなど、技術的な面は問題なくできた。また、視点を少し変え、「電子テキスト&電子カタログの簡易オーサリング・配信システム」として販売することにも拡がりを見せている。

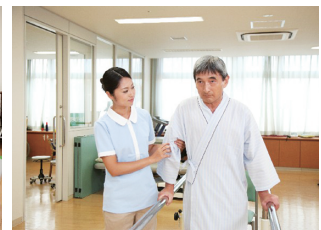
☑パッケージ化と稼働テスト実施

テスト運用は、事業期間内には実現できなかったものの、専門家の指導にて電子テキストオーサリングシステムとしての活用方法などは多くのアドバイスを得ることができた。また、制作工程・ビューワー・配信システムなどのバグ出し・修正

は主に社内で行っている。



動画配信可能な電子テキストとして活用することで、介護・理学療法をはじめ、技術解説を必要とする分野での利用が見込まれています。



今後の展望と活動予定

当社の電子書籍販売サイト「web DE book」にて、Android端末でも閲覧が可能になったことから、これまでより多くのユーザーを獲得できる素地ができた。

フォーマットもEPUBベースになったことで、Amazon・楽天などのすでに大規模な会員を抱える電子書店へ自社のコンテンツをスムーズに配信できるようになった。よって1つのコンテンツが上げてくれる売り上げも十分な拡大が期待できる（一例で10倍以上）。今後は、「web DE book」のリニューアル公開をなるべく早期に果たし、システムパッケージ販売の面では、軌道修正後のターゲットを明確にし、販売価格などを設定、上市・営業にシフトしていきたい。